

## 日本NIE学会自由研究発表一覧（計20本） 10月20日（日）9:30~12:00

### 第一分科会（B208）

- ① 中 善則（花園大学）（共同発表者：伊東広路、徳永加代、西村まさみ、今宮信吾、角野綾子）「シティズンシップの育成をめざした「子ども新聞」づくりー専門家（NIE学会員）と小学校の協働を模索してー」（大学のパソコン使用）
- ② 光武 正夫（佐賀県唐津市立肥前中学校）「社会に開かれた道徳科授業の開発ー新聞広告「最後だとわかっていたなら」を主教材としてー」（大学のパソコン使用）
- ③ 二田 貴広（奈良女子大学附属中等教育学校）「新学習指導要領での表現力を育成する中学校国語科のNIE単元ー新聞のコラムの論理構造を活かして表現力を高めるー」（持参のパソコン）
- ④ 前野 勝彦（香川県高松市立香東中学校）「中学校におけるNIEを活用した効果的な学年経営」（パソコンは使わない）
- ⑤ 行田 臣（愛知県豊橋市立幸小学校）「戦後初期社会科に学ぶNIE実践への示唆ー単元「新聞とラジオ」の分析を通してー」（パソコンは使わない）

### 第二分科会（B207）

- ① 橋本 祥夫（京都文教大学）「記者体験活動を通して、子どもたちのシティズンシップを育成する研究ー子ども記者クラブの取組を通してー」（持参のパソコン）
- ② 畝岡 睦実（岡山県立岡山南高等学校）「新学習指導要領における「批判的・論理的思考力」の育成を目指した授業開発ー社説の論述を疑い、その疑いを論理的に立証する学習の試みー」（大学のパソコン使用）
- ③ 久光 原（北海道恵庭南高等学校）「NIEにおける新聞コラムと映像をリンクさせた実践ー一定時制高校生徒の心の琴線に触れる授業を目指してー」（持参のパソコン）
- ④ 古家 正暢（帝京大学）「新聞を活用して「学ぶに向かう力」を培う実践ー私塾における親子でつくる新聞切り抜き作品づくりー」（持参のパソコン）
- ⑤ 白戸 一範（東京都NIE推進協議会）（共同発表者：吉成勝好）「「学ぶに向かう力」と新聞活用ー子供は何を感じているのかー」（大学のパソコン使用）

### 第三分科会（B205）

- ① 木村 千夏（大阪大学大学院博士後期課程/徳島大学）「学生の分かりやすさを重視した VALUE Rubrics 日本語訳の作成」（持参のパソコン）
- ② 松井 圭三（中国短期大学）「「NIE家庭支援論演習」の授業実践ー保育学科学生のアンケートの結果からー」（大学のパソコン使用）
- ③ 國弘 保明（川崎医療福祉大学）「国家試験を意識したNIEを行うためにー栄養系学科を例としてー」（持参のパソコン）
- ④ 佐藤 久恵（東京未来大学）（共同発表者：所澤潤、神部秀一）「東京未来大学の授業における外国紙と国内紙の比較による「切り抜き新聞」の実践」（持参のパソコン）
- ⑤ 小原 友行（福山大学）「新たな価値の創造を目指した大学におけるNIE授業の開発ー単元「瀬戸内創生をデザインする」の実践化ー」（持参のパソコン）

### 第四分科会（B203）

- ① 磯崎 真澄（岩手日報社）「岩手県におけるNIEの現状と効果に関する考察ー県内全校対象アンケート調査結果の分析からー」（大学のパソコン使用）
- ② 山西 敏博（公立長野大学）「川崎殺傷事件からみる「心の教育」考ーCLIL（内容言語統合型学習）の実践を通してー」（大学のパソコン使用）
- ③ 畑 光一（信濃毎日新聞社）「学校教育を支援する信濃毎日新聞のNIE活動」（持参のパソコン）
- ④ 加藤 隆芳（筑波大学）「脳性まひ児の説明的文章の理解に係る力を育成するための新聞記事を活用した指導法の検討」（持参のパソコン）
- ⑤ 坂本 旬（法政大学）「「フェイクニュース」時代における情報評価能力の育成ー欧米の研究状況から日本の実践までー」（持参のパソコン）

# 自由研究発表要項

## ① 発表について

ア、発表方法：口頭発表、パソコンでのプレゼン可 (RGB, HDMI)

パソコンを持参される場合も、念のためにUSBメモリーを持参してください。  
(機材の相性がありますので、発表前に確認ください。)  
大学ではパソコン以外の機材は用意していません。

イ、発表時間：発表時間 20 分以内、質疑応答 10 分以内 (準備も含めて、30 分で実施)

① 9 時 25 分に、会場説明 (座長から) があります。②9 時 30 分定刻から、各分科会上で、30 分刻  
みで、5 本の発表を行います。③ 休憩時間はありません。④ 最終の発表が終わりましたら、12  
時 15 分から閉会行事 (全体会) があります。

ウ、発表資格：日本 NIE 学会の会員 (共同発表の場合も、発表者全員が会員であること)

\* 本年度の会費未納の方は、お早めに納入ください。(未納入の場合、資格を失います。)

## ② 発表要旨集録原稿について

ア、大会事務局まで、メールにてお送りください。締切厳守でお願いします。

イ、提出原稿に誤字・脱字等がございましたも、一切の修正はいたしません。(責任原稿)

ウ、提出原稿の差し替えは、原稿締切日までに差し替え原稿が届いた場合にのみ対応いたします。

エ、発表要旨集録原稿の締切日は、2019 年 8 月 30 日 (金) 必着です。印刷・製本の都合上、締切  
厳守でお願いします。

(送付先) 日本 N I E 学会第 16 回鳴門大会事務局

〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島 748  
鳴門教育大学 阪根研究室 (担当 阪根、北島)

FAX : 088-687-6593、 E-mail : [sakane@naruto-u.ac.jp](mailto:sakane@naruto-u.ac.jp)

## ③ 当日について

ア、会場は、8 時 30 分に開場します。発表者は、準備をお願いします。会場係が対応します。9 時  
20 分までに、パソコン (プレゼン等) の試写などを行っておいてください。

イ、個別に資料を配布される場合は、100 部程度を持参して、8 時 30 分に分科会会場までお持ちくだ  
さい。(残部が出来ましたら、全て大学で対応します。)

ウ、今後、変更点がありましたら、随時連絡 (メール) いたします。